

## 8月25日(日) 防災キャラバン

ボーイ隊では県連主催の防災キャラバンに参加し防災グッズでキムスゲームを行いました。また、その他のリーダーやスカウトも発泡スチロールでできているブロックを使い、積み上げゲームを通して、地震によるがれきの体験などを担当しました。

今回キャラバンに参加できなかった方も、この機会に各家庭で防災について話しをしてみたいはかがでしょうか？



## 【今後の予定】

### ビーバー隊

9/8(日)  
スカウトの日(ゴミ拾い)  
9:00~12:30  
並木交流センター周辺

9/29(日)  
魚釣り  
9:00~12:30  
北条大池

### カブ隊

9/8(日)  
カントリー大作戦  
9:00~12:30  
並木交流センター

9/22(日)  
デイキャンプ  
9:00~14:00  
高崎自然の森

### ボーイ隊

9/8(日)  
スカウトの日  
9:00~15:00  
赤塚活動地  
  
9/21(土) 18:15  
~22(日) 6:30  
オーバーナイトハイク  
岩瀬〜りんりんロード  
~大穂

## ボーイ隊

### 8月18日(日) 【班集会】

各班の計画にしたがい班集会を行いました。

- イーグル班: 野外料理「あじ調理」(赤塚活動地) 8/18
- フクロウ班: 水泳(水郷プール) 8/25
- タイガー班: 釣り竿作り・フィッシング(北条大池) 8/25

### 9月1日(日) 【班会議・GB会議】 活動場所 竹園交流センター

10/27の班集会の計画を立てました。

- イーグル班: 野外料理(くんせい、ピザ)・樹木観察
- フクロウ班: 野外料理(チーズハットク、バームクーヘン)
- タイガー班: ロープワーク(たちかま、水置き場)

### 8月31日(土)~9月1日(日) 【県連: GBのつどい】

活動場所 裏磐梯

「班」のあり方・グリーンバーの位置づけの理解、グリーンバーとしてのスカウトの意識や技能を高めるプログラム(森の学校、ファイア、ハイキング)に参加しました。他団のスカウトと班を作り活動することで親交を温めることができました。

# 各隊からの報告

## ビーバー隊

8月25日(日) 流しそうめん

活動場所 高崎自然の森

夏を楽しむと言う事で流しそうめん・スイカ割り・水遊びをしました。500ミリのペットボトルを繋ぎ合わせて流しそうめんレーンを作りました。ペットボトルの底面と側面と上部をハサミで切り離す時に1名手を切ってしまう応急処置をしました。段ボールで高さを調節し、それぞれが持参したそうめんと具材を流しました。総勢30名での流し素麺は、圧巻で初めてのスカウトが多くみんな大はしゃぎでした。小泉副長がスイカを差し入れして下さったので、スイカ割りも行いました。こちら初めてのスカウトが多く、苦戦していました。最後には無事に割れ、みんなで美味しく頂きました。暑さ・熱中症対策の為に当日は水着を持参もらい、水遊びもしました。ボールとホースを使って簡単なゲームも行いました。みんなで協力しながら一つの作品を作りあげる事がだいぶ上手に出来る様になってきました。初めての流しそうめん、スイカ割り、予想しない食材に大興奮の活動となりました。子供達の笑顔に癒された活動でした。



## カブ隊

8月25日(日) 竹水鉄砲作り

活動場所 高崎自然の森

夏キャンプを終え、一回りも二回りも成長したスカウト達が元気に集まりました。残暑厳しい中、早速タープを張りました。2人の体験者と共に、まずは、『もやい結びゲーム』をしました。『船をもやう』(船を杭などにつなぐ)に因み、組毎に筏とボートに乗りもやい結びを作り杭にかけ、早さを競いました。みんな頑張ってもやい結びを完成させました。

次は水鉄砲作り。はじめに竹で作りました。本体用の竹を一節ずつのこぎりで切り分け、それに合わせ手で握る部分を考えて押し出し用の細い竹を切りました。押し出し棒ができれば、その先にスポンジ・布を付け輪ゴムで留めたら完成で工程は簡単です。ただ、市販品とは違い組み立てたら完成ではありません。試し打ちをすると水が出なかったり後ろから漏れたり、本体の竹の中にスポンジと布が詰まってしまったり・・・と悪戦苦闘しながらも根気よく何度も改良&試し打ちを繰り返して完成させていました。中には、穴を何個も開けたり、大きな穴にしたり、作り直したり、2個作ったスカウトもいました。自由に作らせると色んな発想をして行動できると感心しました。

次は、ペットボトル水鉄砲作りです。竹はなかなか手に入らないので、手に入りやすい材料でできるペットボトル水鉄砲を作りました。ペットボトルのキャップと本体に一カ所ずつ穴を開け、ストローを通しテープで留め、空気入れを付けました。こちらも工程は簡単ですが、テープでしっかりと留めない水が勢い良く飛びません。どこが問題箇所かよく観察して調整していました。

カブ弁後は竹水鉄砲で『缶当てゲーム』。缶には地図記号が貼ってあり竹水鉄砲で倒した缶の記号をチェックしその合計点を競いました。制限時間3分間、スタートラインから数メートル先のバケツまで走って水を入れ、缶を狙い撃ちました。走って狙って撃つと難易度が高いゲームでしたが、スカウト達は1個でも多く倒そうと暑さもものともせず3分間走りっぱなしの白熱した戦いでした。

試行錯誤しながら完成させるという工作でしたが、スカウト達は諦めず根気強く取り組んでいました。その姿勢が素晴らしいと思いました。工作・ゲームを通して、組としても隊としても絆が深まったプログラムでした。